

平成18年度当初予算 主な事業一覧表

一般会計

文書広報費（文書管理・電子決済システム導入委託料）	P1
災害対策事業（倉吉市防災行政無線設備統合整備事業）	P2
災害対策事業（一般対策）（地域衛星通信ネットワーク整備経費負担金）	P3
賦課徴収費（滞納管理システム委託料）	P4
行政評価システム構築事業	P5
広報公聴事業（広報せきがねデータ電子化業務委託料）	P6
行政情報システム管理事業	P7
合併処理浄化槽設置推進事業	P8
障害者の実態・ニーズ調査事業	P9
障害区分認定審査事業	P10
緊急間伐事業	P11
企業誘致推進事業（企業立地促進補助金）	P12
労働対策事業（地域雇用創造アクションプラン策定事業）	P13
観光ビジョン策定事業	P14
せきがね観光施設維持管理事業（グリーンスコレせきがね貸付金）	P15
せきがね観光施設維持管理事業（グリーンスコレせきがね繰出金）	P16
倉吉駅周辺まちづくり整備事業	P17
交通結節点改善事業	P18
建築指導事業（市所有施設カルテ作成委託料）	P19
建築指導事業（地震ハザードマップ作成委託料）	P20
建築指導事業（震災に強いまちづくり促進事業費補助金）	P21
公営住宅維持管理事業（住宅用防災警報器設置委託料）	P22
一般道路新設改良事業（上井生活関連道路改修工事調査業務）	P23
地方道路交付金事業（仮称 倉吉駅北通り線）	P24
都市計画総務（都市計画マスタープラン作成業務）	P25
小鴨小学校校舎改築事業	P26
小鴨小学校屋内運動場改築事業	P27
鴨川中学校屋内運動場改築事業	P28
小学校運営事業（防犯ブザー・パトロールジャンパー等防犯啓発用品）	P29
第19回全国スポレク祭事業	P30
体育施設整備維持管理事業（市営陸上競技場補修工事）	P31
市営野球場整備事業（関金野球場ディフェンスマット設置工事）	P32
関金B & G海洋センター管理事業	P33
第7回倉吉：緑の彫刻賞	P34
学校給食センター事業（貫流ボイラ更新工事等）	P35
介護保険事業特別会計	
地域密着型サービス	P36
地域支援事業	P37
簡易水道事業	
施設整備費	P38

担当課	総務課
-----	-----

事業名	文書広報費（文書管理・電子決済システム導入委託料）
-----	---------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.3	0	39,900	39,900				0

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
事業の概要 文書收受から起案、決裁まで及び文書管理全般を電子化するシステムの導入 18年度システム導入及びコンサルティング（職員研修等） 19年度システム稼働 対象 職員・行政文書 意図 総合行政ネットワーク（LGWAN）に対応。 電子決裁により決裁時間を短縮し、業務の効率化を図る。 文書管理の電子化により情報公開に迅速かつ的確に対応。 行政文書のペーパーレス化を促進。 電子自治体への基盤整備
歳出積算根拠（金額） PCハード及び関連ソフト 行政文書管理ソフト 運用管理コンサルティング 搬入・設置調整・指導費用
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
合併市町村補助金（10/10）

担当課	総務課
-----	-----

事業名	災害対策事業（倉吉市防災行政無線設備統合整備事業）
-----	---------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
9・1・5	0	50,883			47,900		2,983

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>事業の概要 災害時における市民への防災情報の伝達を主たる目的として整備されている倉吉市防災行政無線設備（本庁舎及び関金庁舎）については、旧市町で整備されたものであり、現在、本庁舎及び関金庁舎からそれぞれの防災行政無線設備を運用しているため、総務省が定めている「市町村合併に伴う無線局の取扱い」に基づき、本庁舎から関金庁舎の防災行政無線設備をデジタル無線を活用して直接制御できるシステムを整備することにより、迅速かつ確実な防災情報の伝達に資する。</p> <p>対象 倉吉市防災行政無線設備（本庁舎及び関金庁舎）</p> <p>意図 本庁舎から関金庁舎の防災行政無線設備を直接制御する。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>工事請負費 防災行政無線設備統合整備工事：48,408千円 委託料 工事設計監理委託料等：2,320千円 土地購入費 中継局設置用地購入：35千円 補償金 立木伐採：120千円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p>合併特例事業債 起債対象事業費50,508千円 × 95% = 47,900千円</p>

担当課	総務課
-----	-----

事業名	災害対策事業（地域衛星通信ネットワーク整備経費負担金）
-----	-----------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
9・1・5	0	4,667				4,667	0

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>事業の概要 災害時における県、市町村、消防等の防災関係機関相互間の通信を確保することを主たる目的として整備されている鳥取県防災行政無線設備が、平成19年12月以降使用できなくなることに伴い、通信回線が多く、データ及び映像の送信が可能な衛星系の防災行政無線設備に更新されるため、本市もあわせて更新する。 対象 鳥取県防災行政無線設備 意図 地上系の防災行政無線設備を衛星系の防災行政無線設備に更新する。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p>
<p>積算根拠 市町村整備経費のうち、起債（旧地域総合整備事業債：交付税措置分）を除いた一般財源分及び起債償還に係る利子相当分について、県：市町村 = 1：3の割合で負担（10年間）する。 ・平成18年度：4,666,177円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p>雑入（地域衛星通信ネットワーク整備事業支援交付金） 負担金 × 100% = 4,666,177円 鳥取県市町村振興協会から</p>

担当課	税務課
-----	-----

事業名	賦課徴収費（滞納管理システム委託料）
-----	--------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.2.2	0	12,515	12,515				0

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
事業概要：滞納者の一元管理を行うシステムを導入する。 対象：市税等の滞納者 意図：滞納者の滞納状況、生活実態等を把握し、迅速な滞納整理を行うことにより、市税の増収を図る。
歳出積算根拠（金額）
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
合併市町村補助金（10/10）

担当課	企画課
-----	-----

事業名	行政評価システム構築事業
-----	--------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.7	0	9,995	9,995				0

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
事業の概要： 基本事業の実績把握と目標設定、事務事業評価（一部）、評価単位と予算事業との関連付け、施策コストの明確化など 対象： 基本計画に掲げた施策及び重点課題 市の業務である事務事業 意図： 重点課題のストーリー展開に基づき施策の目標が達成されている 施策目的や経営方針に合致した事務事業として組み立てられ、効果的・効率的な予算配分や執行がなされる
歳出積算根拠（金額）
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
合併市町村補助金（10/10）

担当課	秘書広報課
-----	-------

事業名	広報公聴事業（広報せきがねデータ電子化業務委託料）
-----	---------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.3	0	3,243		1,509			1,734

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>				
<p>旧関金町で発行された、広報せきがね（4,474頁）を、PDFファイルとして保存し、検索機能をつけて、CD-ROM版を作成する。 作成したCD-ROMを、1,000枚複製し、希望者に販売する。</p> <p>業務委託し作成したCD-ROMとは別に、必要があれば自ら複写し販売する。</p>				
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <table border="0"> <tr> <td> 広報せきがねデータ電子化業務委託料 広報せきがね(PDF)CD作成 CD-ROM版複製版作成(1,000枚) </td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;"> 2,600,000円 419,500円 </td> </tr> <tr> <td> CDコピープロテクト用ソフト CD-ROM(1,000枚) ラベル印刷(1,000枚) </td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;"> 102,900円 84,000円 36,750円 </td> </tr> </table>	広報せきがねデータ電子化業務委託料 広報せきがね(PDF)CD作成 CD-ROM版複製版作成(1,000枚)	2,600,000円 419,500円	CDコピープロテクト用ソフト CD-ROM(1,000枚) ラベル印刷(1,000枚)	102,900円 84,000円 36,750円
広報せきがねデータ電子化業務委託料 広報せきがね(PDF)CD作成 CD-ROM版複製版作成(1,000枚)	2,600,000円 419,500円			
CDコピープロテクト用ソフト CD-ROM(1,000枚) ラベル印刷(1,000枚)	102,900円 84,000円 36,750円			
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>				
<p>鳥取県市町村合併支援交付金（地域の歴史資料保存のための事業） 補助対象経費：広報せきがねデータ電子化業務委託料 3,019,500円 補助率 1/2</p>				

担当課	情報政策課
-----	-------

事業名	倉吉市行政情報システム管理事業
-----	-----------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.7	23,472	27,930		3,206			24,724

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p> <p>鳥教ネット接続： 【概要】旧倉吉市内の小中学校の教職員が鳥教の教職員旅費・グループウェアシステムを利用するためのネットワーク環境を整備する 【対象】教職員 【意図】教職員の事務効率の向上と県内学校との均衡を保つ</p> <p>広瀬分校インターネット接続： 【概要】県内唯一インターネット接続環境の無い学校であり、今後も継続し在校生があるため情報格差の解消と市内小学校との均衡を保つ 【対象】生徒及び教職員 【意図】生徒のITスキルの向上と情報通信格差是正</p> <p>保育園ネットワーク接続 【概要】旧倉吉市はネットワーク接続環境が無いため、インターネット接続を行い園・保護者・役所間の連携強化と各種事務の効率化を図る 【対象】職員 【意図】園市役所間、園間の連絡が容易になり園だより等各種事務の効率化を図る。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>鳥教ネット接続 【初期費用】16校：530,040円 【経常経費】 月額 16校：74,782円</p> <p>広瀬分校インターネット接続 【初期費用】27,300円【経常経費】月額4,095円</p> <p>保育園ネットワーク接続 【初期費用】45,150円×10園＝451,500円【経常経費】月額40,950円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p>合併支援交付金（県補助金） 補助対象経費6,413千円×1/2＝3,206千円</p>

担当課	環境課
-----	-----

事業名	合併処理浄化槽設置推進事業
-----	---------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
4.1.4	60,416	40,233	4,248	7,448		15,980	12,557

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）									
概要 生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、工事期間も短期間で費用も比較的少なく設置でき、中山間地域等の人口散在地区において効率的な污水处理システムである合併処理浄化槽の設置を促進しており、「倉吉市浄化槽設置事業補助金交付要綱」に定めるところにより補助金を交付し、浄化槽の整備推進を図る。									
対象 公共下水道、農業・林業集落排水施設の整備が見込まれない区域に合併処理浄化槽を設置する個人、法人、団体等。 対象町区 40町区 対象戸数 約600戸									
意図 合併処理浄化槽を設置することにより、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する。									
歳出積算根拠（金額）									
設置予定基数 5人槽10基 7人槽18基 10人槽2基									
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">5人槽</td> <td style="padding-left: 20px;">705千円 × 10基 = 7,050千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">7人槽</td> <td style="padding-left: 20px;">822千円 × 18基 = 14,796千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">10人槽</td> <td style="padding-left: 20px;">1,044千円 × 2基 = 2,088千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">合計</td> <td style="padding-left: 20px;">30基 23,934千円</td> </tr> </table>		5人槽	705千円 × 10基 = 7,050千円	7人槽	822千円 × 18基 = 14,796千円	10人槽	1,044千円 × 2基 = 2,088千円	合計	30基 23,934千円
5人槽	705千円 × 10基 = 7,050千円								
7人槽	822千円 × 18基 = 14,796千円								
10人槽	1,044千円 × 2基 = 2,088千円								
合計	30基 23,934千円								
排水設備改造資金貸付金 15,980千円									
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など									
補助対象経費（設置基準額） 5人槽 939千円 7人槽 1,095千円 10人槽 1,392千円 補助率 国4/30 県7/30 貸付金元金収入 15,980千円									

担当課	福祉課
-----	-----

事業名	障害者の実態ニーズ調査事業
-----	---------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
3.1.1	0	1,081					1,081

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>（概要）障害者自立支援法の施行に伴い、障害福祉計画の作成が必須となっている。 サービスの必要量を見込むため、障害のある人にアンケート調査を行う経費および計画を策定するための経費を計上するもの。 （アンケート調査は、県と合同で実施し、集計は県で行う。）</p> <p>（対象）身体障害者、知的障害者、精神障害者</p> <p>（意図）ニーズ調査を実施しサービスの必要量等を見込むとともに必要な施策の検討を行う。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>策定委員謝金 2,700円×20人×3回 = 162,000円 印刷製本費 300円×300冊×1.05 = 94,500円 通信運搬費 380円×1,000人 = 380,000円 障害者実態調査結果入力 180円×1000人 = 180,000円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>

担当課	福祉課
-----	-----

事業名	障害区分認定審査事業
-----	------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
3.1.1	0	7,822					7,822

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>（概要）障害者自立支援法の施行に伴い、障害のある人が福祉サービスを利用する際に必要な障害区分認定のための調査、認定審査会等に要する経費を計上するもの。</p> <p>調査員 1 名 認定審査会は鳥取中部ふるさと広域連合に設置する。中部圏域の市町の審査・判定を行う。</p> <p>（対象）身体障害者、知的障害者、精神障害者</p> <p>（意図）事業を円滑、効率的に実施する</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p>
<p>事務賃金 6,910円 × 20日 × 12月 = 1,707,600円 医師の意見書作成手数料 = 1,000,000円 認定審査会負担金 = 4,945,000円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p> </p>

担当課	農林課
-----	-----

事業名	緊急間伐事業
-----	--------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
6.2.2	0	850					850

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>森林整備事業の柱である間伐について、特に間伐の遅れている高齢級森林（8・9齢級）の間伐促進のため国・県補助事業として、H17年～H19年の3カ年事業として設立された「緊急間伐促進事業」に対する市費上乗せ事業。市費補助率については、8%とする。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p>
<p>間伐実施予定地区：関金町西大河原 間伐実施予定面積：20ha 単価：531,000円/ ha（国県補助事業標準単価採用） 事業費：10,620,000円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>
<p> </p>

担当課	商工観光課
-----	-------

事業名	企業誘致推進事業（企業立地促進補助金）
-----	---------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
7.1.2	115,182	191,575					191,575

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
概要 企業誘致により、雇用の創出を図り地域経済の活性化を図る。 対象 事業拡大を考えている市内企業・市外企業 意図 市内に立地してもらう。
歳出積算根拠（金額） 企業立地促進補助金 159,575千円 情報通信関連企業立地促進補助金 32,000千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など

担当課	商工観光課
-----	-------

事業名	労働対策事業（地域雇用創造アクションプラン策定事業）
-----	----------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
7.1.2	0	324					324

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
事業の概要	平成18年度にはアクションプラン策定のための推進母体となる地域雇用創造推進会議を設置し検討会を年4回開催。その他、調査、研究（視察含む）も行う。 平成19年度にプランを策定する。
事業の対象	市内事業者、関係団体（商工会議所、ハローワーク等）
事業の意図	市内の雇用創出に対し、共通の指針、目標を持ってもらう。そして市内事業所、市内誘致を考えている企業に市民を雇用してもらう。
歳出積算根拠（金額）	
委員報酬	地域雇用創造推進会議委員 15人 × 2,700円 × 4回 = 162,000円
普通旅費	東京 53,240円 × 1人 = 53,240円 島根県海士町 31,280円 × 1人 = 31,280円 大分県中津市 67,400円 × 1人 = 67,400円 計 151,920円
需用費	事務消耗品 5,000円
役務費	通信運搬費 4,800円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	

担当課	商工観光課
-----	-------

事業名	観光ビジョン策定事業
-----	------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
7.1.3	0	1,000					1,000

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）		
（概要）基幹産業としての観光振興の方策（地域の特性・課題、計画コンセプト、全体計画）及び具体のアクションプランを策定し、戦略的に観光施策を実施する。 平成18年度 計画策定に向けた調査研究（視察等含む）、共通目標設定、民間との役割分担、観光ビジョン検討委員会（仮称）の開催、計画策定、講師招聘 平成19年度 検討委員会による計画の検証、計画の見直し、調査研究作業、講師招聘による検証・見直し指導 （対象）民間事業者、観光関係団体、地域住民 （意図）共通の指針・目標を持ち、来訪者をもてなす受け皿を創る。		
歳出積算根拠（金額）		
報償費 旅費 需用費 役務費 使用料	講師謝金 費用弁償 普通旅費 消耗品費 通信運搬費 自動車借上料	200千円 465千円 194千円 33千円 48千円 60千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など		
（空欄）		

担当課	商工観光課
-----	-------

事業名	せきがね観光施設維持管理事業（グリーンスコレせきがね貸付金）
-----	--------------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
7.1.3	280,000	380,000				380,000	0

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>（概要）国民宿舎グリーンスコレせきがねの経営状況は、国民宿舎企業団からの多額の負債を引き継ぎ資金繰りに苦慮している。経営続行のためには運転資金の貸し付けが必要である。 平成17年度 280,000千円 平成18年度 380,000千円</p> <p>（対象）倉吉市国民宿舎事業会計</p> <p>（意図）国民宿舎事業を継続するため。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>

担当課	商工観光課
-----	-------

事業名	せきがね観光施設維持管理事業（グリーンスコールせきがね繰出金）
-----	---------------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
7.1.3	0	51,899					51,899

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
（概要）国民宿舎グリーンスコールせきがねの新館建設事業費として借り入れた企業債の償還金と同額を補助する。 （対象）倉吉市国民宿舎事業会計 （意図）国民宿舎事業会計に企業債償還金（元金分）と同額の資金を繰出すことで経営改善及び一時借入金の削減を図る。
歳出積算根拠（金額）
企業債償還金（元金分） H9.2.20借入分 40,871千円 H8.3.25借入分 6,071千円 S63.4.11借入分 4,957千円 計 51,899千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
（空欄）

担当課	倉吉駅周辺整備事務所
-----	------------

事業名	倉吉駅周辺まちづくり整備事業
-----	----------------

単位：千円

予算科目	金額		財 源 内 訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.4.2	78	66,355			62,800		3,555

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
<p>県中部の玄関口である倉吉駅周辺地区の都市環境整備を行うため、平成13年度に「倉吉駅周辺まちづくり構想」を策定し、平成16年度にはその構想により、「駅周辺交通バリアフリー基本構想」及び「交通結節点改善事業計画」を立ち上げた。</p> <p>交通結節点の重要拠点であるJR倉吉駅において、円滑な乗り継ぎや乗り換えを確保するため自由通路や駅の橋上化を一体となった施設として整備を行うものです。</p>	
歳出積算根拠(金額)	
委託費	倉吉駅橋上化詳細設計等 66,160千円
事務費	195千円
計	66,355千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
合併特例事業債 起債対象事業費66,160千円 × 95% = 62,800千円	

担当課	倉吉駅周辺整備事務所
-----	------------

事業名	交通結節点改善事業
-----	-----------

単位：千円

予算科目	金額		財 源 内 訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.4.2	0	70,000	35,000		33,200		1,800

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
<p>県中部の玄関口である倉吉駅周辺地区の都市環境整備を行うため、平成13年度に「倉吉駅周辺まちづくり構想」を策定し、平成16年度にはその構想により、「駅周辺交通バリアフリー基本構想」及び「交通結節点改善事業計画」を立ち上げた。</p> <p>交通結節点の重要拠点であるJR倉吉駅において、円滑な乗り継ぎや乗り換えを確保するため自由通路や駅の橋上化及び駅前広場の整備を行うものです。</p>	
歳出積算根拠(金額)	
委託費	自由通路詳細設計 36,400千円
用地費	JR用地買収 29,250千円
事務費	4,350千円
計	70,000千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
国庫補助金（交通結節点改善事業費補助金） $70,000千円 \times 50\% = 35,000千円$ 合併特例事業債 $起債対象事業費35,000千円 \times 95\% = 33,200千円$	

担当課	建築課
-----	-----

事業名	建築指導事業（市所有施設カルテ作成委託料）
-----	-----------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.1.2	0	3,500	0	0	0	0	3,500

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>建築基準法第12条の改正に伴い、一定の建築物につき、損傷腐食その他劣化状況を定期的な点検の義務づけ。</p> <p><対象施設> 特殊建築物でその用途に供する床面積が100㎡を超えるもの 事務所等のうち、5階以上で延べ面積が1,000㎡を超えるもの</p> <p><対象および期間> 建築全体（3年以内）・昇降機（1年以内）・建築設備（1年以内）</p> <p><点検者> 1級建築士・2級建築士及び資格者</p> <p>>>>対象施設の設計図等の関連図書を新たに整備する必要</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>平成18年度分 市所有施設カルテ作成委託料 3,500千円</p> <p>全体事業費 10,790千円</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>

担当課	建築課
-----	-----

事業名	建築指導事業（地震ハザードマップ作成委託料）
-----	------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.1.2	0	9,135	4,567	0	0	0	4,568

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
今後、住宅・建築物耐震改修等事業を行う地方公共団体は、住宅建築物耐震改修促進計画を定める必要があり、地震ハザードマップ作成は補助事業の前提条件となる。
歳出積算根拠（金額） 地震ハザードマップ作成委託料 9,135千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
国庫補助金（地震ハザードマップ作成費補助金） $9,135千円 \times 1/2 = 4,567千円$

担当課	建築課
-----	-----

事業名	建築指導事業（震災に強いまちづくり促進事業費補助金）
-----	----------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.1.2	0	800	400	200			200

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
<目的> 地震に強い安全なまちづくりをめざし、耐震診断要する経費の助成 <対象> 昭和56年以前に建設された1戸建て住宅
歳出積算根拠（金額） 1件 60,000円 20件 国：1/3 県：1/6 市：1/6 建築主：1/3 $60千円 \times 20件 \times (1/3 + 1/6 + 1/6) = 800千円$
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
国庫補助金（震災に強いまちづくり促進事業費補助金） $60千円 \times 20件 \times 1/3 = 400千円$ 県補助金（震災に強いまちづくり促進事業費補助金） $60千円 \times 20件 \times 1/6 = 200千円$

担当課	建築課
-----	-----

事業名	住宅用防災警報器設置委託料
-----	---------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.5.1	0	4,888					4,888

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
（概要） 住宅防火に関する消防法令の改正にともなう住宅用防災警報器設置 （設置箇所） 基本的に就寝用に供する居室及び階段 < 公営住宅 > 500戸 1,416機 < 改良住宅 > 24戸 96機 < 特定公共賃貸住宅 > 12戸 30機 < 市単独住宅（余戸谷町住宅） > 11戸 22機
歳出積算根拠（金額） 単価 12,740円 公営住宅 12,740円 × 1,416機 = 18,040千円（18年度は3,000千円） 改良住宅 12,740円 × 96機 = 1,224千円 特定公共賃貸住宅 12,740円 × 30機 = 383千円 市単独住宅 12,740円 × 22機 = 281千円 合計 19,928千円（18年度は4,888千円）
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
（空欄）

担当課	建設課
-----	-----

事業名	一般道路新設改良事業 (上井生活関連道路改修工事調査業務)
-----	----------------------------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.2.3	0	2,000					2,000

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
（概要） 上井地区は、昭和30年代前半に区画整理が行われてから半世紀が経過している。しかしながら、当初から側溝には蓋は未設置であり、所々個人が設置している為、規格もまちまちで連続性もなく危険な状況にあり、転落事故も発生している。また、近年水田が無くなったことにより降雨時に冠水する事態も見受けられるようになってきている。今回、上井地区駅前周辺住民から部分的な修繕ではなく抜本的な改修が求められている為、全体計画を策定し年次的に改修を図るための事業計画を立案するものである。 （対象） 上井駅前周辺の住民 （意図） 住民の安全な通行の確保
歳出積算根拠（金額） 調査業務委託料 2,000千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
（空欄）

担当課	建設課
-----	-----

事業名	地方道路交付金事業（仮称 倉吉駅北通り線）
-----	-----------------------

単位：千円

予算科目	金額		補正額の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.2.3	0	135,000			55,300		79,700

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>												
<p>（概要）本事業は、平成13年度に倉吉駅周辺まちづくり構想で整備が計画され、上井羽合線沿道土地区画整理事業は平成13年度に事業認可、平成22年度に整備完了予定である。また、都市計画道路上井羽合線は平成19年度整備完了予定である。この（仮称）倉吉駅北通り線を整備することにより、区画街路及び都市計画道路と鳥取短期大学からの道路とのネットワーク化を図る。 （対象）JR山陰本線北側に居住する人で倉吉駅を利用する人及び倉吉駅の北側近隣地区居住者 （意図）倉吉駅までの到着時間の短縮を図る。駅北側地区からの倉吉駅の利用者数の増大を図る。倉吉駅北側近隣地区での交通事故発生件数の減少を図る。</p>												
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <table border="0"> <tr> <td>測量設計委託料</td> <td>5,000千円</td> </tr> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td>25,000千円</td> </tr> <tr> <td>補償金</td> <td>85,000千円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>14,000千円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>6,000千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>135,000千円</td> </tr> </table>	測量設計委託料	5,000千円	公有財産購入費	25,000千円	補償金	85,000千円	工事請負費	14,000千円	事務費	6,000千円	計	135,000千円
測量設計委託料	5,000千円											
公有財産購入費	25,000千円											
補償金	85,000千円											
工事請負費	14,000千円											
事務費	6,000千円											
計	135,000千円											
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>												
<p>国庫補助金（地方道路整備臨時交付金（一般財源）） $135,000千円 \times 5.5/10 = 74,200千円$ 市債（合併特例事業債） $(14,000千円 + 5,000千円) \times 1.0275 + 25,000千円 + 85,000千円 \times 0.45 \times 0.95 = 55,300千円$</p>												

担当課	建設課
-----	-----

事業名	都市計画総務（都市計画マスタープラン作成業務）
-----	-------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
8.4.1	0	21,000	21,000				0

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
<概要> 2市町が合併して出来た倉吉市では、旧市町で都市計画行政の取り組みに差違が存在するなか、新市施行後の都市の将来像を共有し、総合的かつ効果的な都市計画行政を進めるため都市計画マスタープランを作成する。 <対象> 市民 ・都市計画区域 <意図> ・倉吉市の総合的なまちづくりの方針を、10次総と整合させた「全体構想」、地域別のきめ細やかなまちづくり「地域別構想」を定め、整備方策等の検討し素案を作成する。 1.全市的まちづくりのイメージを策定し、市民によるまちづくりの共有を図る。 2.市内における都市計画区域の指定のあり方について、方向性を整備する。 3.現行の都市計画の抱える課題について整理し、課題解決に向けた方向性を整理する。 4.計画策定において市民参加を行い、市民と行政の協働によるまちづくり体制の構築を図る。
歳出積算根拠（金額）
倉吉市都市計画マスタープラン作成業務委託料 21,000千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
合併市町村補助金（10/10）

担当課	教育総務課
-----	-------

事業名	小鴨小学校校舎改築事業
-----	-------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.2.3	588,121	753,287	166,753		423,300	30,000	133,234

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）			
（概要）小鴨小学校の校舎は昭和41年から43年にかけて建築され、その後昭和57年に児童数の増加により特別教室棟を増築し、現在に至っている施設であるが、普通教室棟の一部と管理教室棟が危険建物となっていることから全面改築を計画し、取り組んでいる校舎改築事業の継続分である。今年度は、校舎改築工事の継続、既存校舎の解体、備品の整備を予定している。 校舎を改築することにより、良好な教育環境を創り、児童が安全安心な学校生活を送ることができる。			
歳出積算根拠（金額）			
校舎改築工事(継続)	18年度分	633,276千円	
現校舎解体工事		78,540千円	
改築工事監理委託料		11,340千円	
校舎解体工事設計監理委託料		1,091千円	
備品整備及び事務費		29,040千円	
計		753,287千円	
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など			
国庫支出金	校舎増築部分(470㎡)負担率 1/2	18年度実施分60%	23,996千円
	危険改築部分(2,446㎡)負担率 1/3	18年度実施分60%	83,254千円
	不適格改築部分(1,862㎡)補助率 1/3	18年度実施分60%	59,503千円
	計		166,753千円
地方債(合併特例事業債)	充当率95%		423,300千円
基金繰入金(公共施設等建設基金繰入金)			30,000千円

担当課	教育総務課
-----	-------

事業名	小鴨小学校屋内運動場改築事業
-----	----------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.2.3	0	14,497			13,700		797

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>						
<p>（概要） 小鴨小学校の屋内運動場は、昭和44年に建設されたものであるが、普通教室棟と同様に危険建物となっていることから現在のグラウンドに改築を計画するものである。校舎改築の後、19年度の単年度事業として速やかに改築に取り組めるよう実施設計を行うものである。 屋内運動場を改築することにより、良好な教育環境を創り、児童が安全安心な学校生活を送ることができる。また、地域のスポーツ活動の場として充実した施設を提供することができる。</p>						
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">実施設計委託料</td> <td style="text-align: right;">14,257千円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td style="text-align: right;">240千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">14,497千円</td> </tr> </table>	実施設計委託料	14,257千円	事務費	240千円	計	14,497千円
実施設計委託料	14,257千円					
事務費	240千円					
計	14,497千円					
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>						
<p>合併特例事業債 14,497千円 × 95% = 13,700千円</p>						

担当課	教育総務課
-----	-------

事業名	鴨川中学校屋内運動場改築事業
-----	----------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.3.3	153,583	228,755	48,646		113,900		66,209

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）			
（概要） 鴨川中学校の屋内運動場は昭和29年に建設され、建物自体が危険建物となっていることから、昨年度からの二カ年の事業として改築を行っているものである。 18年度は、本工事の他に現施設の解体、教室棟と屋内運動場を結ぶ渡り廊下の設置、防球ネットの設置、施設を有効に利用するための備品整備を行うものである。 屋内運動場を改築することにより、良好な教育環境を創り、生徒が安全安心な学校生活を送ることができる。また、地域のスポーツ活動の場として充実した施設を提供することができる。			
歳出積算根拠（金額）			
屋内運動場改築工事(継続)	18年度分	185,157千円	
現屋内運動場解体等付帯工事		36,396千円	
改築工事監理委託料		2,939千円	
付帯工事設計監理委託料		3,283千円	
備品整備及び事務費		980千円	
計		228,755千円	
歳入積算根拠（特定財源）			
補助対象経費、補助率など			
国庫支出金	増築部分(326㎡)負担率 1/2	18年度実施分60%	16,002千円
	危険改築部分(812㎡)負担率 1/3	18年度実施分60%	26,572千円
	地域連携施設部分(200㎡)補助率 1/3	18年度実施分60%	6,072千円
	計		48,646千円
地方債(合併特例事業債)	充当率95%		113,900千円

担当課	学校教育課
-----	-------

事業名	小学校運営事業（防犯ブザー・パトロールジャンパー等防犯啓発用品）
-----	----------------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.2.1	0	686					686

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>本市が防犯ブザーを購入し、児童全員に貸与し、登下校時の安全を確保する。 児童生徒の安全を確保するために、パトロール等を実施している地域の組織の活動継続のためにパトロールジャンパー等防犯啓発用品を購入する。 児童生徒にとって安心安全な地域環境づくりに努める。</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>防犯ブザー 335,280円（330円×1,016個） パトロールジャンパー等防犯啓発用品 350,000円（25,000円×14地区）</p>
<p>歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など</p>

担当課	市民スポーツ課
-----	---------

事業名	第19回全国スポレク祭事業
-----	---------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.5.1	1,820	11,933				4,144	7,789

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
（概要）第19回全国スポーツ・レクリエーション祭が平成18年10月21日から24日まで鳥取県で開催され、倉吉市においては、年齢別バドミントンと壮年ボウリングを実施する。 （対象）出場者・市民 （意図）生涯スポーツの振興と地域の活性化に寄与する。
歳出積算根拠（金額） 補助金 第19回全国スポレク祭実行委員会補助金 11,933千円 内訳 推進室費 3,645千円 大会運営費 8,288千円 大会運営費総額その他財源（直接倉吉市実行委員会へ） 県実行委員会補助金 13,519千円 参加者負担金 804千円 総事業費 26,256千円（うち大会運営費総額22,611千円）
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
雑入（市町村振興基金助成金） 8,288千円 × 1/2 = 4,144千円

担当課	市民スポーツ課
-----	---------

事業名	体育施設整備維持管理事業（市営陸上競技場補修工事）
-----	---------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.5.2	0	33,810			32,100		1,710

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
（概要）平成19年5月の第3種公認検定に合格するため、やり投げ助走路及び走り高跳のフィールドを改修する。 （対象）県民・市民 （意図）生涯スポーツの振興と地域の活性化に寄与する。
歳出積算根拠（金額） 工事請負費 市営陸上競技場補修工事 33,810千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
合併特例事業債 起債対象事業費 33,810千円 × 95% = 32,100千円

担当課	市民スポーツ課
-----	---------

事業名	市営野球場整備事業（関金野球場ディフェンスマット設置工事）
-----	-------------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.5.2	0	7,035			6,600		435

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
（概要）関金野球場のフェンスにディフェンスマットを設置する。 （対象）市民 （意図）関金野球場のフェンスがコンクリート製であることから、内野フェンスにディフェンスマットを設置し、利用者の安全確保を図る。（市営野球場は設置済）
歳出積算根拠（金額）
工事請負費 関金野球場ディフェンスマット設置工事 7,035千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
合併特例事業債 起債対象事業費 7,035千円 × 95% = 6,600千円

担当課	市民スポーツ課
-----	---------

事業名	関金B & G海洋センター管理事業
-----	-------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.5.2	3,530	4,259				155	4,104

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
B & G海洋センタープールの開設（7月1日から8月31日） 市民及び観光客及び合宿等の高校生、大学生 アドバンストインストラクターの養成（5月31日から7月5日） B & G海洋センターを管理・開設していくうえで必要なインストラクターの整備 出来るだけ多くの人に利用してもらおう。
歳出積算根拠（金額）
平成17年度実績から インストラクターの養成研修（沖縄）35泊36日 1人 387,400円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
（空白）

担当課	博物館
-----	-----

事業名	第7回倉吉：緑の彫刻賞
-----	-------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.4.6	0	7,076					7,076

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）
トリエンナーレ美術賞（前田寛治大賞、菅楯彦大賞、緑の彫刻賞）の一環であり、地域に関わる文化芸術の振興を基本方針とする。緑の彫刻賞は生活環境の上質で潤いのある修景を目的とし、選考審査委員によって選ばれた日本を代表する彫刻家の作品を公共空間に設置し市街地のグレードアップをはかる。
歳出積算根拠（金額）
報償費 550千円 委託料 1,000千円 備品購入費 5,000千円 等
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など
（空欄）

担当課	学校給食センター
-----	----------

事業名	学校給食センター事業（貫流ボイラ更新工事等）
-----	------------------------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
10.5.3	0	16,951			16,100		851

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）	
（概要） 関金との合併に伴い、関金給食センターを19年4月から倉吉に統合するため、給食数の増加に加え、経年劣化が進んでいる2基の貫流ボイラー（蒸気ボイラー）を更新整備する。また、統合による約500食分の増加のため、新たに食缶消毒保管庫を1台増設整備する。 （貫流ボイラー整備） 2基の貫流ボイラーを平成18年7月から8月の夏季休業期間中に設置工事を行う。 （食缶消毒保管庫整備） 関金給食センター統合のため、新たに約500人分の食缶消毒保管庫1台を平成18年7月から8月の夏季休業期間中に設置工事を行う。 （対象） 貫流ボイラー（蒸気ボイラー）、食缶消毒保管庫 （意図） 貫流ボイラーの更新設置、食缶消毒保管庫の増設設置	
歳出積算根拠（金額）	
工事費 計	貫流ボイラー 14,763千円 食缶消毒保管庫 2,188千円 16,951千円
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など	
合併特例債	16,951千円 × 95% = 16,100千円

担当課	長寿社会課
-----	-------

事業名	地域密着型サービス
-----	-----------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2	0	323,777	90,431	40,471		140,842	52,033

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>（地域密着型介護サービス給付費及び地域密着型介護予防サービス給付費）</p> <p>高齢者が要介護状態となつても、できる限り住み慣れた地域で生活を継続できるようにする観点から、原則として日常生活圏域内でサービスの利用及び提供が完結するサービスを新たに類型化し、市が事業者の指定及び指導・監督を行うものである。</p> <p>地域密着型サービスの対象となるのは、以下の6種類のサービスである。</p> <p>小規模多機能型居宅介護 夜間対応型訪問介護 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（小規模（定員29人以下）の特別養護老人ホーム） 地域密着型特定施設入居者生活介護（小規模（定員29人以下）の介護専用型特定施設） 認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム） 認知症対応型通所介護</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症対応型通所介護供給量6,611回/年 × 10,920円/回 72,193千円 ・ 介護予防認知症対応型通所介護供給量495回/年 × 10,128円/回 4,213千円 ・ 認知症対応型共同生活介護供給量88件/月 × 222,335円/月 × 12月 234,786千円 ・ 介護予防 " " 5件/月 × 209,752円/月 × 12月 12,585千円
<p>歳入積算根拠 補助対象経費、補助率など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国庫負担金20% 64,756千円 ・ 財政調整交付金 7.93% 25,675千円 ・ 県費負担金12.5% 40,471千円 ・ 一般会計繰入金12.5% 40,471千円 ・ 2号保険料31% 100,371千円 ・ 1号保険料16.07% 52,033千円

担当課	長寿社会課
-----	-------

事業名	地域支援事業
-----	--------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
4	0	70,000	24,785	12,393		19,523	13,299

事業の説明

<p>事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等） 対象（誰、何を対象にしているのか） 意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）</p>
<p>要支援・要介護状態になる前からの介護予防を推進するとともに、地域における包括的・継続的マネジメント機能を強化するために実施するものである。</p> <p>事業内容 介護予防事業 ア．要支援・要介護になるおそれの高い者（特定高齢者）の決定 イ．介護予防サービスの提供（特定高齢者施策） ウ．全高齢者を対象とする介護予防事業（一般高齢者施策） 包括的支援事業 ア．介護予防ケアマネジメント イ．総合相談支援事業 （地域の高齢者の実態把握、介護以外の生活支援サービスとの調整等） ウ．権利擁護事業（虐待の防止、虐待の早期発見等） エ．包括的継続的マネジメント事業 （支援困難事例に関するケアマネジャーへの助言、地域のケアマネジャーのネットワークづくり等） 任意事業 介護給付等適正化事業、家族介護支援事業等</p>
<p>歳出積算根拠（金額）</p> <p>・介護給付費 3,645,576千円×2% 72,000千円（地域支援事業の上限額） 介護予防事業 3,645,576千円×0.7% 23,000千円（1.5%の範囲内） 包括任意事業 3,645,576千円×1.3% 47,000千円（1.5%の範囲内）</p>
<p>歳入積算根拠 補助対象経費、補助率など</p> <p>・地域支援事業交付金：介護予防事業（国25%、県及び市12.5%、2号31%、1号19%） ・地域支援事業交付金：包括・任意事業（国40.5%、県及び市20.25%、1号19%）</p>

担当課	簡易水道課
-----	-------

事業名	施設整備費
-----	-------

単位：千円

予算科目	金額		左の財源内訳				
	17年度	18年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
2.1.1	40,322	68,855			60,000	8,855	0

事業の説明

事業の概要（手段、具体的なやり方、手順、開催時期、場所等）

対象（誰、何を対象にしているのか）

意図（対象をどう変えるのか、何を狙っているのか）

（水源地・配水池改良工事）

1. 山口水源地・配水池改良工事・・・〔水源〕集水埋管・受水槽取替〔配水池〕老朽フェンス取替、防水モルタル塗他

2. 真野原配水池改良工事・・・老朽フェンス取替、L形擁壁敷設
* 水源・配水池共施設が老朽化し、衛生の保持が困難な状態で、維持管理に多くの労力を必要とするため、改良を必要とする。【老朽化・・・立入防止柵が不備。鉄蓋が錆び強度が不足している、隙間からの虫類が侵入する。水槽躯体の凍害防止モルタルが剥がれている。敷地内で雑草繁茂する。】 【衛生保持・・・山口水源では雑菌が検出される。】

（配水管布設工事）

1. 今西配水管布設工事・・・鋳鉄管 100 L=650m・ポリ管 100 L=40m
・今西・和谷2つの谷の上流部で接続されているものを、下流部も接続し環状にする事により、配水の確実性を高める。

2. 大鳥居配水管布設工事・・・ビニル管 75 L=290m
・既設管は急傾斜地に露出配管され、災害の発生する恐れがありこれを解消する。

3. 関金宿（本町）配水管布設工事・・・鋳鉄管 100 L=160m
・既設塩ビ管が老朽化し、破損修理を繰り返している。

歳出積算根拠（金額）

（水源地・配水池改良工事）

1. 山口水源配水池改良 集水埋管800千円＋受水槽300千円＋フェンス800千円＝1,900千円

2. 真野原配水池改良 擁壁2,200千円＋フェンス1,200千円＋防水モルタル1,600千円＝5,000千円

（配水管布設工事）

1. 今西配水管 31,000円/m×650m＋50,000円/m×40m＋減圧弁850,000円
23,000千円

2. 大鳥居配水管 25,800円/m×290m 7,500千円

3. 関金宿（本町）配水管 31,250円/m×160m 5,000千円

4. その他継続工事 泰久寺配水管14,000千円＋大河内配水管12,455千円＝26,455千円

歳入積算根拠（特定財源）

補助対象経費、補助率など